

年 月 日

第 33 期（2022 年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 特定テーマ助成申請書

下記の通り、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の特定テーマ助成②「プラスチックが生物多様性に与える影響についての調査・研究」を申し込みます。

1. タイトル

〇〇海域における、〇〇に関する研究	日本語で、内容を簡潔に表現したものにしてください。
-------------------	---------------------------

2. 申請団体

団体名	〇〇研究会 プロジェクトを行う団体の名前にしてください。		
申請代表者 氏名	(フリガナ)シゼン タロウ	生年 月日	
	自然 太郎		
所属機関 ・ 役職	自然大学大学院〇〇研究科 修士1年		
住所	〒 自宅か職場（または学校）の住所をお書きください。 (自宅・職場)		
電話	自宅・職場：連絡のつきやすい方の番号をお書きください。	携帯電話：	
e-mail	連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつくアドレスをお知らせください。	URL	団体のサイトがある場合はURLをお書きください。

3. 研究テーマ（下記より1~2つ選びチェックボックスをクリックしてください。該当しない場合はその他にチェックし、大まかなテーマをカッコ内にお書きください。テーマ対象については募集要項 E-1 (p. 17) をご参照ください。 https://www.pronaturajapan.com/foundation/pronatura_fund.html）

- 生物のプラスチック取込み調査・研究
- これまでに蓄積されてきたプラスチック取込みに関するデータの整理
- プラスチックが与える生物・生態系への影響評価
- 生物とプラスチックの相互関係に関する基礎調査
- その他（ ）

複数選択しないでください。複数のテーマにまたがる場合は、「その他」を選択してください。

4. プロジェクトの目的（200字程度）

本申請プロジェクトにおいて、どこの地域のどのような対象物の研究あるいは活動を行うのか、どのような課題を解決しようとしているのか等、目的を明確にお書きください。

例) 北海道の〇〇海域に生育する〇〇について、死亡漂着した個体の胃袋内容物を調査し、マイクロプラスチックの〇〇への影響について明らかに・・・

5. 助成申請額

200 万円

支出計画書の金額から千円の位を四捨五入した金額をお書きください。千円・百円単位まで書かないでください。

6. 助成期間（いずれかに○をつけてください）

1年間 ・ ○2年間

査にのみ使用し、その他の目的では使用いたしません。公益財団法人自然保護適切に取り扱いいたします。

プロジェクト計画書（1）

1. 研究課題の自然保護上の重要性

(1) 本研究課題における自然保護上の重要性について、要点を 200 字程度で枠内にお書きください。

海洋プラスチックが海洋生物に及ぼす影響について、近年注目が集まっている。しかし、その実態はいまだ明らかになっていない。〇〇海域は、生物多様性の豊かな場所として世界的にも認識されており…海洋プラスチックの取り込みのメカニズムを明らかにするのに・・・。

文字のフォントを大きくしたり、太字にしたりして、本申請のポイントが一目で明確にわかるよう、適宜工夫してください。

(2) 本研究課題に取り組むこととなった背景や課題などを

日本国内では、年間 350 件程度の〇〇の死亡漂着が確認されている。これらの情報と標本をもとに、これまで多くの研究を行い、〇〇や〇〇を明らかにしてきた。しかし、・・・。

※注意※

- フォントサイズは 10 ポイント以上でお書きください。
- 枠の位置やサイズの変更はしないでください。また、ページ数を増やすことはできません。
- 写真や図の挿入は可能ですが、モノクロ印刷で審査に付されるため、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします。
- 字数制限はありませんので、ページ内であれば設問ごとに回答スペースを調整しても構いません。

(3) 本プロジェクトの対象となる生物の特徴について、詳細にお書きください。また調査対象地域がある場合は、地図を添付するなどして対象範囲を明確にしてください。

北海道北部〇kmに位置している海域。
平均水温〇℃～〇℃で、希少生物の〇〇が生息し・・・

地図

プロジェクト計画書 (2)

2. プロジェクトの計画

(1) 本研究の具体的な到達目標についてお書きください。

本研究では、〇〇海域の〇〇を調べるため、2年間で以下の研究を行う。

【1年目】

目標① 過去の同地域における〇〇に関する情報を整理する・・・

目標② 6月～8月にかけて〇〇海域の〇〇調査を行い・・・

【2年目】

目標① 1年目と同じ時期に、〇〇海域の〇〇調査を行う・・・

プロジェクトが2年間の場合は、1年ごとの到達目標について具体的にお書きください。

(2) どのように上記の目標をクリアしていくのか、調査・研究手法をお書きください。

【1年目】

- ・ ①に対して過去のアナログデータをスキャンしてデジタル化する。・・・
- ・ ②に対して入手したデータを精査し、・・・
- ・ ・・・
- ・ ・・・

どのような方法でデータを取得し、分析し、問題を解決するのか、お書きください。

【2年目】

- ・ ①に対して〇〇調査結果とともに、〇〇の海洋ゴミの取り込み状況について考察を行う。
- ・ ・・・

(3) 予算計画について、特記すべき点があれば、お書きください。一つの費目への比重が大きい場合などは、説明してください。

〇〇調査用の機材〇〇の購入費が多い。

(4) 調査・研究体制や構成メンバーの専門性などについて、特記すべき点があれば、お書きください。

本調査は、〇〇に詳しい学者だけでなく、〇〇に詳しいメンバーも加わっている。これにより、当該海域の〇〇だけでなく、生態系全体を俯瞰的に見ることができる・・・

- (3) と (4) の設問については、特記すべき事項がなければ空欄で結構です。そのぶん (1) と (2) の回答スペースを広げてお書きいただいて構いません。
- ただし、ページ数は増やさないでください。

プロジェクト計画書 (3)

3. プロジェクトの発展性

(1) 本プロジェクトにおいて期待される成果を、100字程度で簡潔にお書きください。

過去のデータを整理し、今回の新たな調査結果と比較することで、〇〇海域において〇〇がどのようなプラスチックゴミや海洋ゴミを摂取しているのかを明らかにする。得られた知見は、・・・

こちら、フォントや文字の大きさを工夫して見やすくなるようにしてください。

(2) 本プロジェクトの助成終了後、プラスチックと生物多様性における研究を行っていく上で、成果をどのように役立てていくのかお書きください。

本研究で得られた成果は、地域の自然保護団体等と共有し、団体との連携を深め、モニタリング体制を構築していく。・・・

学会や論文で発表する、だけではNG。具体的に、成果をどのような自然保護研究や活動の分野に活用していくか、今後の研究にどのように活かしていくかについてお書きください。

年間スケジュール(1)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
2022年10月	情報の収集, 整理 ○○海域における漂着標本のアーカイブデータの整理	消耗品の購入 59,000円
11月	↑ ↓	
12月		
2023年1月		
2月	情報の収集, 海域調査 ・○○海域における・・・	大まかな支出概要で構いません。具体的な費目については支出計画書にお書きください。
3月	↑ ↓	
月をまたいで調査や分析の作業を行う場合は、↓でお示してください。 行の高さは変更して構いませんが、ページは増やさないでください。		
【1年間プロジェクト】中間報告書の提出		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
【1年間プロジェクト】助成期間の終了 / 【2年間プロジェクト】中間報告書の提出		
10月		
11月	【1年間プロジェクト】成果報告書・会計報告書の提出	【1年間プロジェクト】成果発表会出席旅費※対面希望の場合計上してください。自己資金の場合は記載不要です。
12月		

年間スケジュール(2)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
2024年1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
【2年間プロジェクト】助成期間の終了		
10月		
11～12月	【2年間プロジェクト】最終報告書の提出	【2年間プロジェクト】成果発表会出席旅費※対面希望の場合計上してください。自己資金の場合は記載不要です。 30,000円

2年申請をされる場合は、2023年10月以降のスケジュールもお書きください。

グループの構成員

氏名	所属	役職	分担*
自然太郎	自然大学大学院	修士1年	責任者（申請者）
●● ●●	自然大学大学院	ポスドク	副責任者
●● ●●	自然大学		会計責任者

グループの最低人数は3名とし、代表者は副責任者または会計責任者を兼任しないでください。

申請者がその任を負えなくなったときに、このプロジェクト遂行の責任を負っていただける方を副責任者としてください。

大学の研究者が申請代表者となる場合、大学事務員を会計責任者とすることができます。ただし、申請グループの一員という扱いになるため、一般管理費（オーバーヘッド）の支出は認められません。大学への寄附手続きは当財団では行いません。会計処理が困難となる場合、可能であればグループ内で会計係を設けるようにしてください。

*プロジェクトの上で担当する役割を記入。（責任者、副責任者、会計責任者を必ず決めて下さい。）

これまでの研究実績・発表実績

申請代表者の略歴（過去を含めた所属先や最終学歴など）をお書きください。

XXXX年 自然大学〇〇学部〇〇学科 卒業

〇〇研究会を3年前に立上げ、〇〇の保全を目指して活動している

学生の方は、プロジェクトに関連する経歴について書いていただいても構いません。

本申請に関連する、代表的かつアクセス可能な研究実績・発表実績3件をお書きください。（申請代表者以外のプロジェクトメンバーのものでも可）

a) 様式（論文の場合）：著者（発表年）、論文タイトル、雑誌名、巻（号）：初めのページ-終りのページ。
様式（書籍の場合）：著者（出版年）、タイトル、出版社、ページ数。

b) 様式（学会・シンポジウム等の発表）：発表者、「題目」、発表した学会名、論文等の番号、場所、発表年月日

c)

必ずしも申請代表者の実績である必要はありませんが、本申請の内容に関連するものに限りです。

助成金申請状況

1. 現在、同様のテーマで他財団や公的機関の助成金を申請していますか。

機関名	テーマ	金額(万円)

科研費や他財団の助成金への申請は特に禁止していませんが、同様のテーマで重複して採択された場合は必ず当財団にご相談ください。

2. 現在、第33期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の別の申請に、構成メンバーとして参加していますか。

カテゴリー名	タイトル

申請代表者は、他の申請プロジェクトにおいて申請代表者になることはできません。また、本申請グループが別のテーマで複数応募することをご遠慮ください。

アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません。)

I 申請代表者の当財団による助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上 ・

グループとしては応募経験あり (回) ←応募回数をお書きください。

II 過去に、申請代表者は当財団による助成金を得たことがありますか。あれば回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

グループとしては採択経験あり (回) ←これまでの採択回数をお書きください。

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト ・ メーリングリスト ・

友人/知人から ・ その他 ()

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。また、申請書で書きにくかった項目があればお書き下さい。

V プロ・ナトゥーラ・ファンド助成に関するご意見・ご要望があれば、お書きください。

VI プロ・ナトゥーラ・ファンド助成で、今後新たに取り組むと良いと思われる自然保護の課題があれば、お書き下さい。

VII 助成採択後、成果発表会の開催形式はどのような形態を希

対面 ・ オンライン ・ ハイブリッド (対面+オンラ

ご協力ありがとうございました。

チェックリスト

- 記入漏れ、記入ミスはありませんか？
- ページ数はアンケートを含め8ページに収まっていますか？
- アンケートは記入しましたか？
- 支出計画書は記入しましたか？

1年プロジェクトの場合は1年用の
フォーマットに記入してください。

支出計画書(1)_1年目

プロジェクト名:

助成申請額

¥1,000,000 円

自動的に算出されますので記入しないでください。
申請書の申請金額と相違がないようご確認ください。

団体:

代表者:

会計責任者:

支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

費目	内訳	単価	数量	小計
a.器具・備品費	インターバルカメラ	¥30,000	10	¥300,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥300,000
b.消耗品費	筆記用具(鉛筆, ボールペン, メモ帳...)	¥2,000	10	¥20,000
	コロナ対策消耗品(アルコール, マスク)	¥3,000	10	¥30,000
	フィルムスキャナー	¥9,000	1	¥9,000
				¥0
(合計)				¥59,000
c.委託費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
d.賃金・謝金	アルバイト賃金 (1万円×3名×調査日数)	¥10,000	30	¥300,000
	オンライン勉強会 講師 謝金	¥10,000	2	¥20,000
				¥0
				¥0
(合計)				¥320,000
e.旅費	宿泊費(山小屋利用)	¥7,000	10	¥70,000
	レンタカー代(ガソリン代含む)	¥15,000	6	¥90,000
				¥0
(合計)				¥160,000
f.交通・通信・運搬費	グループメンバー交通費	¥1,000	20	¥20,000
	アルバイト交通費	¥1,000	30	¥30,000
				¥0
(合計)				¥50,000

細かい消耗品が多く記入欄が足りなくなる場合はこのようにまとめて書いてください。

委託費・謝金に関しては、上限はありませんが、予算の大半を占める場合は、グループメンバー主体の活動ではないと見なされることがありますのでご注意ください。

片道100kmを超える場合は旅費、100km未満の場合は交通費として計上してください。メンバー以外の協力者や補助者の旅費・交通費もこちらに計上してください。

※記入欄が足りない場合は、行を追加して、不要な行を削除して記入してください。

支出計画書(2)_1年目

費 目	内 容	単 価	数 量	金 額(円)
g.図書・資料費	地形図 図鑑	¥500	30	¥15,000
		¥1,000	6	¥6,000
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥21,000
h.印刷費	資料印刷代	¥10	5000	¥50,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥50,000
i.会議費	会議室利用料	¥5,000	4	¥20,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥20,000
j.借用費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
k.雑経費	保険料	¥2,000	10	¥20,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥20,000
l.助成成果発表会出席 経費	長野⇄東京(往復)	¥30,000	1	¥30,000
				¥0
(合計)				¥30,000
助成申請額合計				¥1,000,000

成果発表会には必ずご出席ください。そのための旅費は必ずこちらに計上するか自費でお願いします。なお、発表者1名分のみ計上してください。
2年申請の方は2年目のシートの方へ計上ください。

※1年目と2年目の合計助成申請額が200万円を超えないようにご注意ください。

支出計画書書(3)_2年目

プロジェクト名:

助成申請額

¥1,000,000 円

団体:

代表者:

会計責任者:

支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

費 目	内 訳	単 価	数 量	小 計
a.器具・備品費	調査用テント購入費	¥50,000	3	¥150,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥150,000
b.消耗品費	筆記用具(鉛筆, ボールペン, メモ帳…)	¥2,000	3	¥6,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥6,000
c.委託費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
d.賃金・謝金	アルバイト賃金 (1万円×3名×調査日数)	¥10,000	30	¥300,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥300,000
e.旅費	宿泊費(山小屋利用) 同レンタカー代(ガソリン代含む) 学会参加費	¥7,000 ¥15,000 ¥80,000	10 6 1	¥70,000
				¥90,000
				¥80,000
				¥0
				¥0
(合計)				¥240,000
f.交通・通信・運搬費	グループメンバー交通費 アルバイト交通費	¥1,000 ¥1,000	30 30	¥30,000
				¥30,000
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥60,000

学会参加費, 論文投稿費, 英文校閲費は上限10%
までの範囲内で支出可.

支出計画書(4)_2年目

費 目	内 容	単 価	数 量	金 額(円)
g.図書・資料費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
h.印刷費	資料印刷代	¥20	5000	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥100,000
i.会議費	会議室利用料	¥5,000	10	¥50,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥50,000
j.借用費				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥0
k.雑経費	保険料	¥2,000	32	¥64,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
(合計)				¥64,000
l.助成成果発表会出席 経費	長野⇄東京(往復)	¥30,000	1	¥30,000
				¥0
				¥0
(合計)				¥30,000
助成申請額合計				¥1,000,000